

平成22年中の暴走族の実態及び取締り結果について

1 暴走族の動向及び実態

(1) 動向

い集・走行回数、参加車両台数は、横ばい状態
参加人員がやや増加したものの、110番通報件数は減少

区分\年別	H18	H19	H20	H21	H22	
い集・走行回数	4,730	4,174	3,568	3,572	3,566	
前年比	増減数	161	-556	-606	4	-6
	増減率(%)	3.5	-11.8	-14.5	0.1	-0.2
参加人員	54,434	49,379	41,806	35,247	36,961	
前年比	増減数	-6,469	-5,055	-7,573	-6,559	1,714
	増減率(%)	-10.6	-9.3	-15.3	-15.7	4.9
参加車両台数	34,984	32,573	25,896	23,180	23,223	
前年比	増減数	-3,310	-2,411	-6,677	-2,716	43
	増減率(%)	-8.6	-6.9	-20.5	-10.5	0.2
110番通報件数	65,520	64,057	57,593	55,549	48,284	
前年比	増減数	-7,844	-1,463	-6,464	-2,044	-7,265
	増減率(%)	-10.7	-2.2	-10.1	-3.5	-13.1

(2) 実態

グループ数及び暴走族構成員数は、一貫して減少傾向
少年比率は増加傾向

区分\年別	H18	H19	H20	H21	H22	
グループ数	847	767	651	583	507	
前年比	増減数	-109	-80	-116	-68	-76
	増減率(%)	-11.4	-9.4	-15.1	-10.4	-13.0
構成員数	13,677	12,584	11,516	10,454	9,064	
前年比	増減数	-1,409	-1,093	-1,068	-1,062	-1,390
	増減率(%)	-9.3	-8.0	-8.5	-9.2	-13.3
少年比率(%)	47.7	47.3	48.2	51.7	54.4	

2 取締り結果

暴走族の総検挙人員は減少

共同危険行為等の禁止違反は、平成20年以降、検挙件数、検挙人員、
1事件あたりの検挙人員ともに減少

(単位：人)

区分\年別	H18	H19	H20	H21	H22	増減数	増減率(%)
道路交通法	39,418	33,648	32,963	29,534	27,969	-1,565	-5.3
うち共同危険行為	2,939	2,619	2,833	2,405	2,008	-397	-16.5
	検挙件数(件)	298	288	307	278	240	-38
1事件あたりの検挙人員	9.9	9.1	9.2	8.7	8.4	-0.3	-
うち騒音関係違反	2,438	2,885	2,942	3,035	3,020	-15	-0.5
刑法犯・その他	3,425	2,994	2,791	2,636	2,807	171	6.5
計	42,843	36,642	35,754	32,170	30,776	-1,394	-4.3
うち逮捕者数	4,284	3,480	3,336	2,931	2,701	-230	-7.8